2026年9月期通期

決算補足説明資料

株式会社ＦＣＥ
2026年11月12日
東証スタンダード
証券コード：9564

会社概要

会社名	株式会社 FCE	証券コード：9564
設立	2017年4月21日 グループ創業2004年2月19日	
従業員数	294名	※ 2026年9月30日現在

Purpose

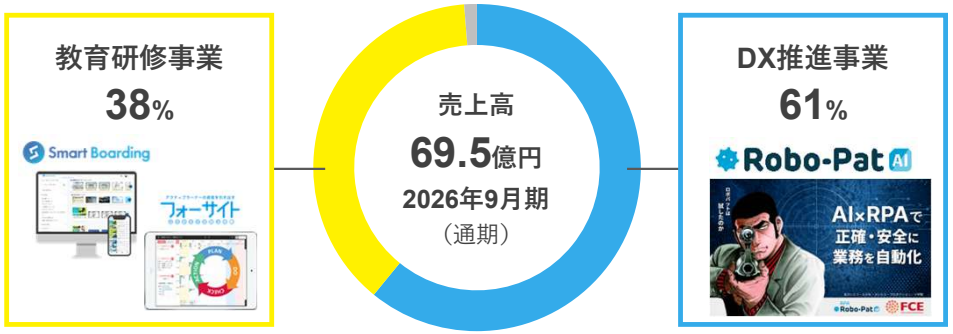
チャレンジあふれる未来をつくる

Mission

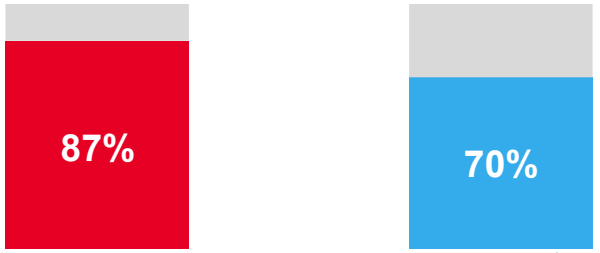
主体性 × 生産性

人的資本の最大化に貢献する

主要な事業（事業セグメント）



売上構成（2026年9月期実績 売上高69.5億円の割合）



ストック比率
（継続的に利益を得るビジネス）

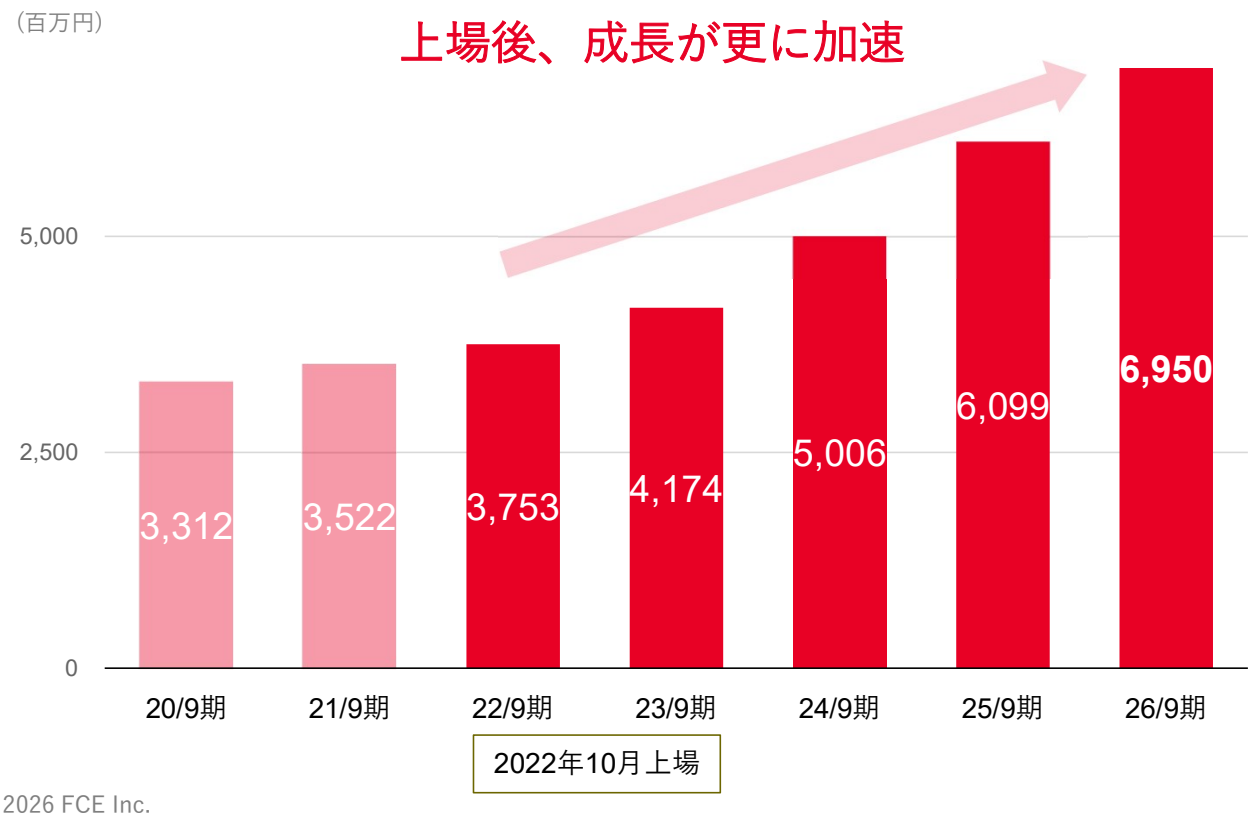
SaaS型ビジネス
（ロボパットAI・Smart Boarding・AI OMNI AGENT）

© 2026 FCE Inc.

2026年9月期 通期 ｜ 業績ハイライト（1/2）

2022年10月上場来、増収増益を継続しており、順調な成長を継続

売上高推移（連結）



▶売上高（26/9期）

6,950 百万円

前年同期比 +13.9%

▶営業利益（26/9期）

1,130 百万円

前年同期比 +23.9%

▶経常利益（26/9期）

1,160 百万円

前年同期比 +25.5%

単位：百万円（百万円未満切捨て）

© 2026 FCE Inc.

2026年9月期 通期 ｜ 決算概要

売上高(通期)：通期の売上高はDX推進事業を中心に増収となり、前年同期比で13.9%の増収

経常利益(通期)：通期の経常利益は主にSaaS型ビジネスの増収の影響により、前年同期比で25.5%の増益

通期実績

売上高増やストック型ビジネスの積み上がりによる増収増益により、ほぼ予想通りの着地
純利益は、想定税率の見込み差異もあり、見込みより若干のマイナスとなった

単位：百万円	2025年9月期		2026年9月期					
	4Q (7-9月)	通期	4Q (7-9月)	前年同期比（3か月）	通期	前年同期比（通期）	通期予想 (2026/8/10発表)	予想比（通期）
売上高	1,562	6,099	1,779	+216 (+13.9%)	6,950	+850 (+13.9%)	6,800	102.2%
営業利益	△11	912	37	+48 (ー%)	1,130	+217 (+23.9%)	1,130	100.0%
経常利益	△20	925	38	+59 (ー%)	1,160	+235 (+25.5%)	1,160	100.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	14	662	339	+148(+77.4%)	879	+216 (+32.7%)	910	96.7%
EBITDA※	13	1,002	69	+55 (+413.2%)	1,241	+239 (+23.9%)	ー	ー
経常利益率	△1.3%	15.2%	2.2%	+3.5%pts	16.7%	+1.5%pts	17.1%	ー

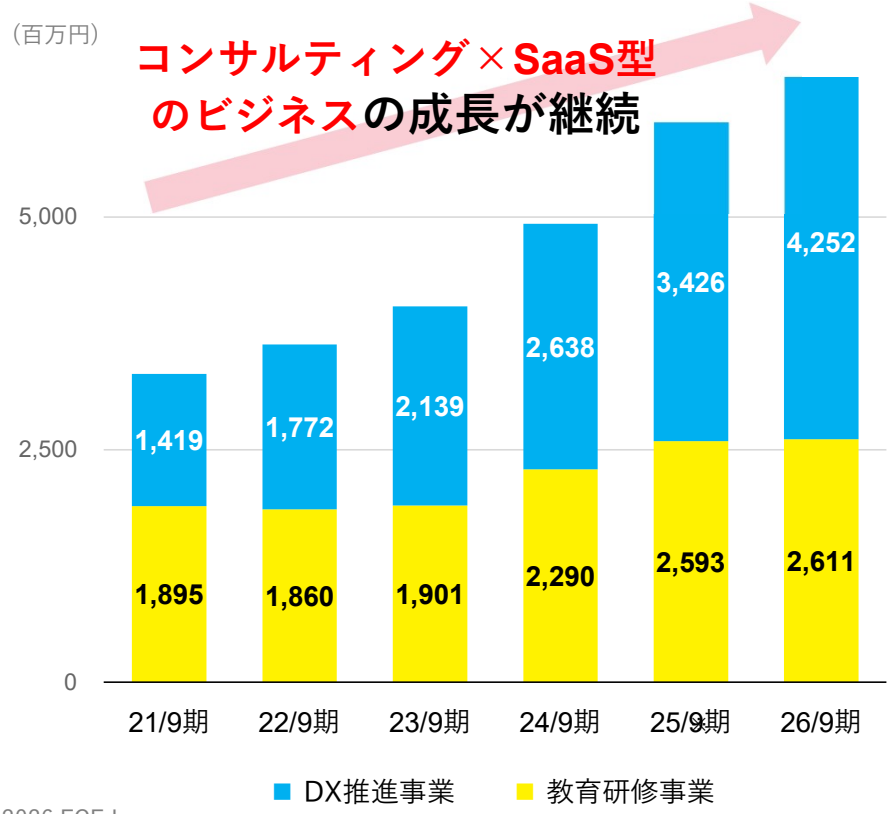
単位：百万円（百万円未満切捨て）
※ EBITDA=営業利益＋償却費（減価償却費＋のれん償却＋保証金償却＋長期前払償却）

© 2026 FCE Inc.

2026年9月期 通期 ｜ 業績ハイライト（2/2）

RPAを活用したDX支援SaaS「ロボパットAI」及び社員教育のSaaS「Smart Boarding」を提供する
コンサルティングとSaaS型のハイブリッドなビジネスが順調な成長を継続

セグメント別売上高推移（連結）



DX推進事業

▶ セグメント売上高（26/9期）

4,252 百万円　前年同期比 **+24.1%** ⬆

▶ ハイライト（ロボパットAI）

- ✓若手社員の早期育成・活躍の仕組み化
- ✓AI機能搭載により利便性向上、チャーンレートは低位維持(1%台継続)
- ✓導入社数も順調に増加（2026年9月末時点で2,213社に到達）
- ✓生成AIの普及が市場拡大の追い風

教育研修事業

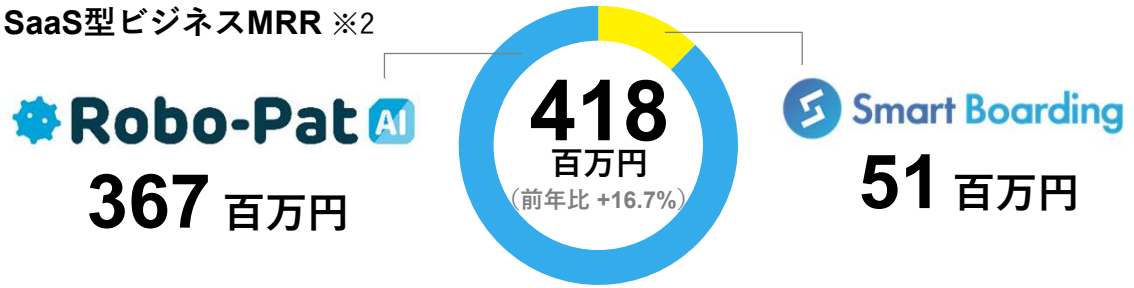
▶ セグメント売上高（26/9期）

2,611 百万円　前年同期比 **+0.7%** ⬆

▶ ハイライト（Smart Boarding）

- ✓チャーンレートは低位水準を維持
- ✓ 新しいコンテンツ・学習コースの追加やAIロープレ機能等の機能強化を予定
- ✓直販への注力により、1社当たり売上（ARPU）が向上傾向

SaaS型ビジネスMRR ※2



※1：SaaS（Software as a Service）契約が継続する限り毎月定額の収益になるサブスクリプションモデル
※2：MRR（Monthly Recurring Revenue） 2026年9月期第4四半期末時点の毎月繰り返し発生する売上金額

© 2026 FCE Inc.

2027年9月期　業績予想

・売上高は前年同期比＋10％以上の76.6億円とし、増収を見込む
（※2027年4月に承継予定のインターナショナル・スクール事業の影響は前年比で136百万円程度）

・中長期の成長投資も行いながら、引き続き、増益・利益率の向上を見込む

単位：百万円	2026年9月期	2027年9月期		2026年9月期	2027年9月期	
	実績	予想	前年同期比	実績 (IS事業※2除く)	予想 (IS事業※2除く)	前年同期比 (IS事業※2除く)
売上高	6,950	7,660	+709(+10.2%)	6,698	7,545	+846(+12.6%)
営業利益	1,130	1,370	+239(+21.2%)	1,088	1,358	+269(+24.8%)
経常利益	1,160	1,405	+244(+21.0%)	1,117	1,393	+275(+24.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	879	1,070	+190(+21.6%)	-	-	-
EBITDA※1	1,241	1,487	+246(+19.8%)	-	-	-
1株当たり当期純利益（円）	39.85	48.13	+8.28	-	-	-
経常利益率	16.7%	18.3%	+1.6%pts	16.7%	18.5%	+1.8%pts

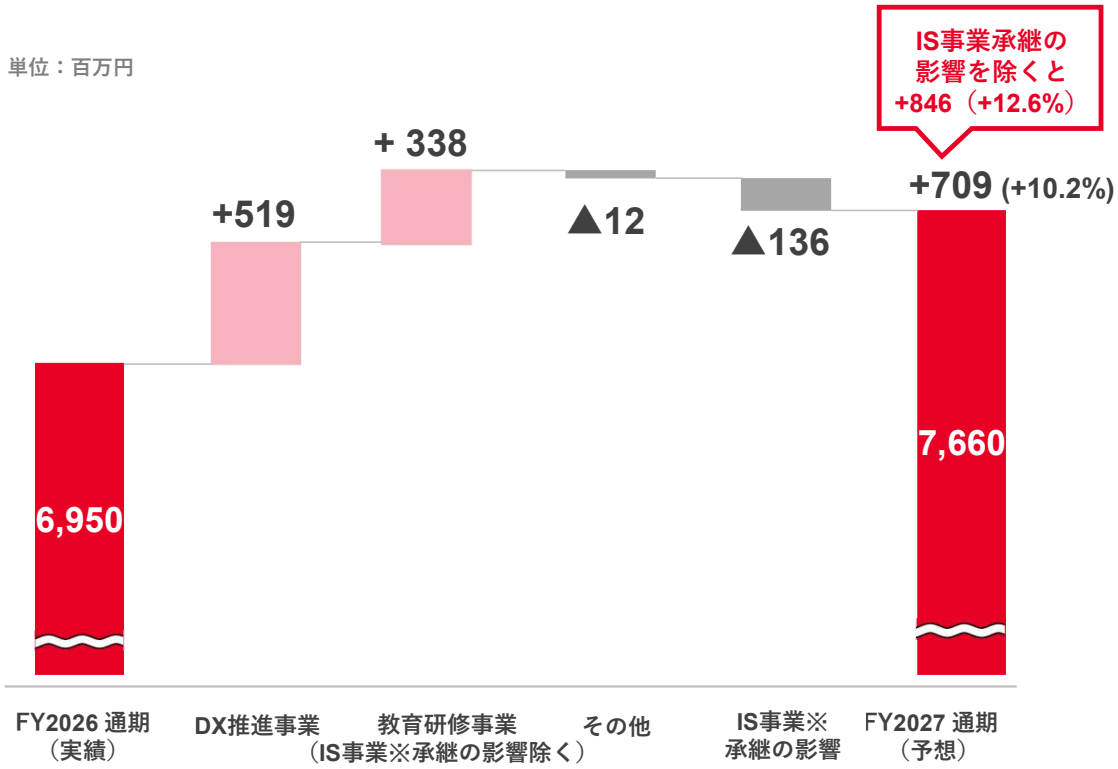
単位：百万円（百万円未満切捨て）

© 2026 FCE Inc.

※1 EBITDA=営業利益＋償却費（減価償却費＋のれん償却＋保証金償却＋長期前払償却）
※2 IS事業：インターナショナル・スクール事業。2027年4月1日に株式会社東京インターナショナルスクールグループ社に承継予定

2027年9月期 業績予想 ｜ 売上高

企業の生産性向上や業務効率化を目的としたデジタル化・AI活用の需要の高まりを背景に、売上高は709百万円増の7,660百万円を想定



※IS事業：インターナショナル・スクール事業。2027年4月1日に株式会社東京インターナショナルスクールグループ社に承継予定

数値前提

●DX推進事業：
（ロボパットAI）
生産性向上のニーズや市場の拡大にあわせて導入企業の開拓や既存導入企業の更なる利用拡大を推進。値上げによるARPU向上も想定。

（AI関連事業）
AI関連事業の立ち上げやAIコミュニティ「ＡＩｘＯＮＥ」での事業展開、業務提携等により業容拡大を想定。

●教育研修事業：
（研修事業）
「Smart Boarding AIプラス」のリリースによりARPU向上やUIの刷新による商品力強化と増収を企図。

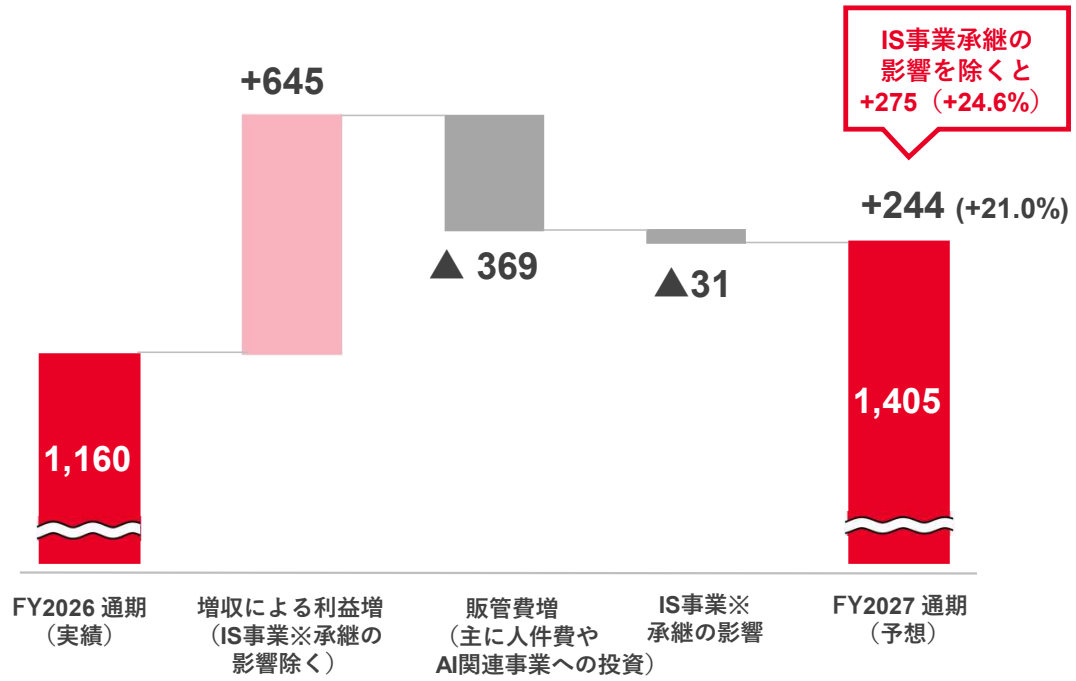
（教育事業）
7つの習慣J®や教室支援事業等の自社コンテンツ強化、業務提携による新規事業を展開。

© 2026 FCE Inc.

2027年9月期 業績予想 ｜ 経常利益

AI関連事業や中長期的な成長に向け更なる事業機会の創出を実現できるように先行投資をしながらも、経常利益は244百万円増の1,405百万円を想定

単位：百万円



数値前提

●増収による利益増：
DX推進事業（ロボパットAI事業）を中心に利益の増加を見込む。

●販管費の増加：
引き続き、積極的な人財採用・人財投資に加え、広告宣伝やAI関連事業（子会社のAIx含む）への投資を進めるため増加を見込む。

※IS事業：インターナショナル・スクール事業。2027年4月1日に株式会社東京インターナショナルスクールグループ社に承継予定

© 2026 FCE Inc.

バランスシートの概況

単位：百万円	2025年9月末	2026年9月末	増減 (前年度末25/9比)
現金及び預金	3,175	3,872	+697
その他流動資産	761	858	+96
流動資産合計	3,936	4,730	+794
固定資産合計	1,790	1,908	+117
資産合計	5,727	6,638	+911
負債合計	1,928	1,978	+50
株主資本	3,896	4,622	+725
その他純資産項目	△97	37	+135
純資産合計	3,799	4,660	+861
負債純資産合計	5,727	6,638	+911
自己資本比率	66.3%	70.2%	+3.9%pts

利益により、現金及び預金は+697百万円

売掛金+50百万円
契約増加による増加

投資有価証券 +151百万円

契約負債 +50百万円

純利益+714百万円
その他有価証券評価差額金+135百万円など

© 2026 FCE Inc.

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）　※2026年9月末時点

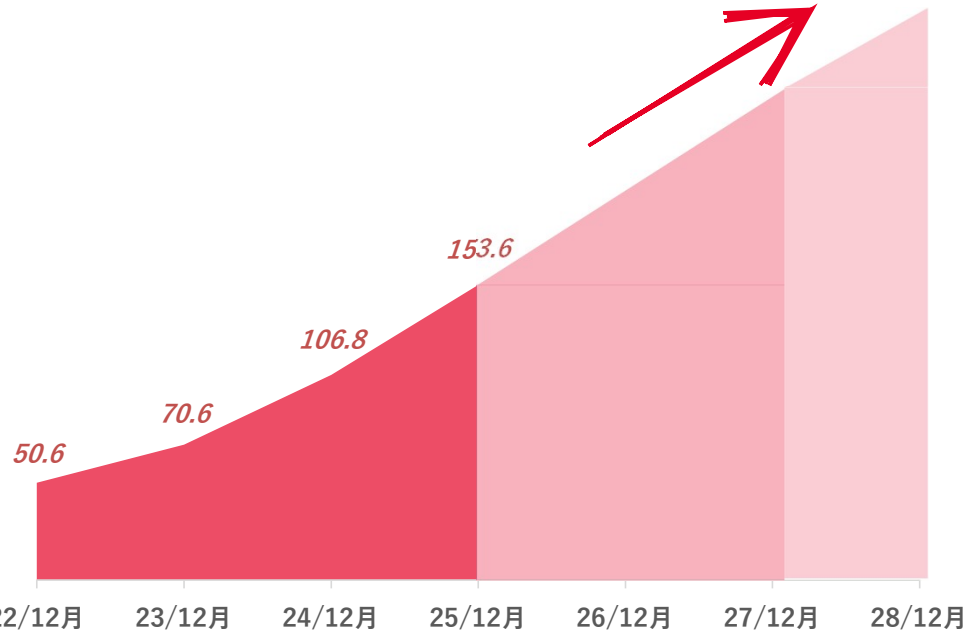
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について：今後の方針

ROE改善・資本コスト低減・期待成長率上昇で時価総額上昇を狙う。

時価総額推移と今後の目標

右記3つの観点に基づき時価総額上昇を図り、
27/12月を目途にプライム市場形式要件の充足を目指す。

（単位：億円）



※上記数値は当社試算値であり、前提条件（成長率・割引率等）の変動でレンジは変動し得る。

目標達成に向けた方針



売上高10%以上、経常利益20~25%以上の成長を毎期実現。
→　利益率を向上し、ROE上昇

- 事業・業績の予見可能性を高めるIR開示
- 株式の流動性・出来高の継続的改善

→　株主帰属のリスク減少し、資本コスト低減

- DX推進事業の継続的な成長
- AI関連や新規の事業の立ち上げ

→　成長分野投資で、市場からの期待成長率上昇

$$PBR = ROE \times PER \approx \frac{ROE}{Ke - g}$$

Ke：株主資本コスト　g：期待成長率

© 2026 FCE Inc.

cf.) 2026.2.12 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（更新）

IR information

本説明資料やその他IRに関するご意見やご質問は、
メール・IRお問い合わせフォーム・IR公式X(Twitter)より
お問い合わせください。

ir@fce-hd.co.jp

コーポレートサイトでは、決算説明資料・ Q&Aの採録他、
アナリストレポート等もご覧いただけます。

https://fce-hd.co.jp/ir/

公式のX(Twitter)では適宜情報発信をしております。

https://x.com/fce_ir

© 2026 FCE Inc.

本資料の取り扱いについて

本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。
これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社及び当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

© 2026 FCE Inc.